

報道関係者 各位

～冬至の夜、電気を消してキャンドルを灯そう 12月4日(木) 茶屋町、11日(木) 西梅田で開催～
『100万人のキャンドルナイト@オオサカシティ』イベントに協賛します



キャンドルナイト 2008 夏の様子

株式会社 千趣会(本社 大阪市 代表取締役社長 行待裕弘)は、CSR(企業の社会的責任)ポリシーの1つである環境対策の一環として、2008年12月4日(木)、大阪・茶屋町地区、11日(木)大阪・西梅田地区で開催されるイベント「1000000人のキャンドルナイト@オオサカシティ 2008 Winter」(主催:100万人のキャンドルナイト@オオサカシティ実行委員会)に協賛いたします。協賛は2006年から数えて3年目になります。(詳細<http://www.candle-night-osaka.jp>)

このイベントは、単に電気を消して省エネを考える旧来のエコロジー運動ではなく、20時から22時まで2時間ライトオフ(消灯)した都市空間で、キャンドルの灯火やアートに身を置くことで、単に電気を消して省エネを考えるといた事ではなく、一人一人が、自分や家族、未来の地球のために出来ることを考えるポジティブで文化的な活動です。この活動を大阪の中心地「梅田」から新しいお祭りの形として発信し、来る12月21日冬至の日のキャンドルナイトへのパーソナルな参加を呼び掛けます。

千趣会では海外植林を通じた環境保護活動を推進するとともに、お客様が参加してできる環境活動として、2006年から始めている「ベルメゾンの森キャンペーン」(<http://www.senshukai.co.jp/mori>)や2008年9月からスタートしている「地球温暖化防止キャンペーン(※1)」を行うなど、日々の暮らしの中で広がる環境活動を重要と考えております。本イベントも全国的に広がりを見せる環境啓蒙のムーブメントの1つであり、「都市生活者の環境意識の向上」という趣旨に賛同し、地元大阪の企業として支援しております。

(過去の支援内容については http://www.senshukai.co.jp/main/top/csr_candle.htm)

11日の西梅田のイベントでは当社のブースを開設。両イベントにてプチフレグランスキャンドルとカレンダー4,000セットの配布も予定しております。

100万人のキャンドルナイトは日本全国各地でさまざまなイベントが開かれております。(詳細<http://www.candle-night.org/jp/>) お客様により良い暮らし心地を発信し実感していただく企業として、千趣会は今後も引き続き協賛の予定です。

(※1) 地球温暖化防止応援キャンペーン



<http://www.senshukai.co.jp/co2>

お客様がベルメゾンネットのお買い物時に「CO2 排出権付き飛脚宅配便」を選択いただくことで1回のご注文につき1円をご負担いただきます。同時に千趣会と佐川急便よりそれぞれ同額の1円を負担し、佐川急便の購入した1万トン分の排出権から合計3円分=CO2約1kg分を日本国政府に無償譲渡します。9月からスタートしたこのキャンペーンはすでに延べ38,000人以上の方に参加いただいております(数字は2008/11/29現在)

千趣会の海外植林活動



<使った分だけ、木を植えよう>

カタログ使用全量分をまかなう規模の植林を。
私たちは大きな夢に着手しています。

千趣会が発行するカタログは年間約1億冊、約4万トンのパルプを消費いたします。このため、千趣会では紙問題は最大の環境問題であると認識し、1993年からオーストラリアで約24,000ヘクタール規模の植林事業に共同参画しておりますが、当社の貢献分は、カタログ使用量の20%にすぎませんでした。

そこで新たにカタログ使用全量分の収穫量を目標として、2006年にはラオスでの植林事業にも参画。将来的には45%までの収穫を見込んでいます。

木を植え、育てる。育った木を伐採して紙の原料を作る。再び木を植える。少しでも多く、そして近い将来の自給自足のために。私たちは、本気で植林事業に取り組みます。

◎本件に対するお問い合わせ先

株式会社千趣会 大阪市北区同心1-8-9 総務・IR広報部 IR広報チーム 田島・土井
TEL06-6881-3100 FAX06-6881-3050 E-mail pr@senshukai.co.jp